

# まんすりー 全旅連情報

2012.11  
Vol.213

発行日●平成24年11月1日(毎月1回発行) 定価150円



穂高連峰を映し出す大正池(長野県上高地)

## 今月の主な内容

- 一般社団法人日本旅館協会設立記念式典開催
- 第21回全旅連青年部全国大会in美ら島沖縄開催
- ホテル火災発生に伴う消防庁による緊急調査結果報告

<b>NEWS</b>	一般社団法人日本旅館協会設立記念式典開催	1
	第21回全旅連青年部全国大会in美ら島沖縄開催／ 全旅連青年部広報室	2
	全旅連シルバースター部会経営研究委員会開催／ 第1回全旅連会長選挙管理委員会開催／ 固定資産見直しに関する緊急アンケート「ホテル・旅館の維持補修に関する調査」実施	4
	全旅連女性経営者の会(JKK)定例会・勉強会開催	5
	ホテル火災発生に伴う消防庁による緊急調査結果報告／ 平成24年秋季全国火災予防運動の実施	6
	省庁便り	8
	第15回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	10
	全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	11
	都道府県組合等の情報	12
	全旅連協定商社紹介	13
	全旅連協定商社会名簿	16



全旅連「宿ネット」イメージキャラクターの「ココよちゃん」です。  
宿をイメージさせる姿に、頭の煙突からは宿の空室状況を表す  
「○・△・×」の煙を出しています。

## 原稿・情報をお寄せください。

ユニークな経営、地域の活動などを行っている組合や組合員の情報をお寄せください。自薦・他薦を問いません。  
その他、ご意見や提言などもお待ちしております。

## 投稿方法

●E-mail ●郵送 ●FAXにて(連絡先を明記してください。)

## 送り先

●E-mail: [ajra@alpha.ocn.ne.jp](mailto:ajra@alpha.ocn.ne.jp)  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全旅連事務局  
Tel.03-3263-4428 FAX.03-3263-9789

### まんすりー全旅連情報

発行日:平成24年11月1日(毎月1回発行)  
定価:150円  
発行人:清澤正人  
印刷:山陽印刷株式会社

### 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F  
TEL 03-3263-4428/FAX 03-3263-9789  
「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

# 一般社団法人日本旅館協会設立記念式典開催

日本観光旅館連盟と国際観光旅館連盟が合併し、新たに「一般社団法人日本旅館協会」が発足した。新法人は、旅館・ホテル約3400軒を会員として国内外への良質な情報発信を行い、国内宿泊業界のさらなる発展を目指して新たなスタートを切り、10月18日、東京都内のホテルで臨時（設立）総会と記念式典を開催した。

理事の選出、平成24年度事業計画案・予算案などを議事とした設立総会のあと記念式典が挙行政され、佐藤義正会長は「わが国の伝統文化を守り、宿泊業の健全な発展を成し遂げるといふ壮大な目的のもとに結集した本協会の限りのない発展を願うものである」とした式辞を述べた。また、橋本清仁国土交通大臣政務官、舩山龍二（社）日本観光振興協会副会長による来賓の祝辞と祝電の紹介のあとロゴマークの披露も行われ、国内外に新法人をいち早く知ってもらうためのメッセージとなった。デザイナーの五十嵐威暢多摩美術大学学長は「日本の家紋というグラフィックデザインの伝統の流れを取り入れたもので、『旅館』の象徴となる建物のかたちを、世界各地から投宿する人を表わした8つの円が囲んでいる。全体として柔らかく優美で伝統的日本の文化をイメージした」と説明した。

このあと、懇親会は政界や観光関連業界などから大勢の来賓が出席して催され、前原誠司国家戦略担当大臣（元国土交通大臣）、羽田雄一郎国土交通大臣、鳩山由紀夫元首相、細田博之自由民主党総務会長、二階俊博社団法人全国旅行業協会会長、田川博己（株）JTB代表取締役社長、そして、佐藤信幸会長らがあいさつを行い、日本旅館協会の設立を祝うと同時に、これからの事業展開に大きな期待を寄せた。近兼孝休日本旅館協会会長代行の「一緒になって旅館ホテル業の健全な発展に努めたい」の言葉で懇親会は終了した。



日本旅館協会のロゴマークを握手する佐藤会長と近兼会長代行。ロゴマークはデザイナーの五十嵐氏（多摩美術大学学長）が説明した



設立総会後に行われた記念式典（東京新宿の京王プラザホテルのコンコードボールルームで）



記念式典で式辞を述べる日本旅館協会佐藤会長



写真上左から、記念式典・懇親会であいさつする前原、羽田、鳩山、細田の各氏。写真下左から、二階、橋本、舩山、佐藤の各氏



写真上＝左から佐藤会長、羽田国交相、近兼会長代行、佐藤全旅連会長。右＝賑々しく行われた鏡開き



懇親会では次々に来賓が駆け付け、日本旅館協会の設立を祝い、日本の旅館文化・宿泊業界の新しい未来に期待を寄せた

# 第21回全旅連青年部全国大会in美ら島沖縄 無事に終了!

2年毎に開催されている全旅連青年部全国大会第21回大会が9月27日沖縄コンベンションセンターにおいて、出向者の皆様方の熱心で入念な準備のもと「利他精神～夢を語り背中を見せる」をスローガンに開催されました。

大会に先立つ神事は強風の中行われましたが、神事終了直後にそれまでは強風にもかかわらずびくともしていなかった御霊代が風に飛ばされるという事件(?)があり、神事の大切さを改めて実感したことでした。

式典で横山部長は「初めて参加した神戸の全国大会で、壇上で光り輝く先輩たちを見て心を打たれたことを思い出す。今日はじめて参加する方も多いと思う。ぜひ多くの先輩方に触れ勉強をして、そのときめきを持ち帰ってほしい。大きな夢を語り合い、ともにこの業界を盛り上げていこう」と挨拶。山口次期部長は、来年4月から2年間の活動方針として「風通しのよい組織の構築」「魅力ある事業の創出」「災害支援ネットワークの構築」の三本柱を掲げ、それぞれ具体的に進めていく

とし、初年度においては魅力ある事業の中で「お客様とわれわれ宿泊施設をつなぐ流通に課題のメスを入れたい」と挨拶されました。

また、全国の優れた青年部活動をたたえるアワードの発表・協賛企業の表彰式も行なわれ、グランプリは青年部員の投票により、大懇親会で発表されました。

分科会では、ドリーム旅館プロジェクト委員会による「旅館甲子園」のシミュレーション大会を含む7委員会により、2年間の活動内容や成果等の発表がありました。

出展ブースは47にもおよび、青年部の皆さんは大変熱心に見学されていました。各々の会社に戻ってからは業務に役立っていることと思います。

大懇親会では、褒賞グランプリの発表のほか出向者が壇上でプロポーズというサプライズがあるなど大いに盛り上がり、新しいつながりがたくさん生まれました。

超大型台風が迫りくる中、台風の足を遅らせるほどの青年部員の熱気が感じられた素晴らしい大会でした。

参加者に配布する資料を協賛商社の協力を得て行なった袋詰作業風景



来賓の挨拶をする全旅連小原健史前会長



神事に臨む横山部長

式典にて褒賞グランプリ候補者「ディエーカガ(石川県)」と「朝ごはんプロジェクト」(新潟県)のプレゼンテーションが行なわれた



次期部長(山形県)山口氏と握手する横山部長



出展ブース風景

大懇親会にて次期ブロック長の発表



新潟県「新潟朝ごはんプロジェクト」が褒賞グランプリを受賞し、高橋新潟県部長が表彰された





## 全旅連青年部全ての皆様へ

第21回全旅連青年部全国大会 in 美ら島沖縄にお越しいただき本当にありがとうございました。心配された天候も問題なく全ての工程が遂行されました。改めて皆様のご尽力に心から御礼申し上げます。

残り組は台風の影響で未だ沖縄ですが、それもまた一興ですね。式典、分科会、大懇親会、ブース出展と、何か良いきっかけはお持ち帰りいただけただけでしょうか？これをきっかけに今後も全旅連青年部の活動にご理解、ご尽力を賜りましたら幸いです。本当に本当にありがとうございました。

第20代青年部長 横山 公大  
副部長一同

## 県向者の皆様へ

先日の全国大会、お疲れ様でした。針の穴を通すような天候で、当日は何とか大会終了までもってくれました。

各部会に準備を例年より2カ月前倒しで行って頂き、ご不便をおかけする事も多々あったかと思いますが、お陰様をもちまして無事に終了しました。

今大会は日程から始まり、毎月の実行委員会のスタイル、また褒賞など初の試みが随所にある大会でしたが、参加の青年部員を始めOBの皆様より「今までで最高の全国大会の1つじゃないか」と言った、嬉しいお言葉を頂く事が出来、「ほっ」としているところです。

過去の慣例に従うだけではなく、「温故創新」の想いのもと、新たな青年部の時代の1ページを飾れた大会になったのではないのでしょうか。

沖縄県青年部の皆様には全旅連青年部の活動に対し、多大なご理解とご協力を賜り、最高の設営・おもてなしを頂きました事に改めて心より御礼申し上げます。



最高の笑顔と絆で一致団結する横山部長と副部長7人

今期はまだ残り半年ございます。各委員会の評価は、この半年間にどういった活動をして行くかで全く違った春を迎えるようになります。宿泊業に携わっている以上、我々のゴールは永遠に無いと思います。ただ、横山体制のゴールは来年4月の定時総会です。気を抜く事無く、今期のラスト1/4を最後まで突っ走って行きましょう!!

次回の全国大会が益々素晴らしい大会になりますよう祈念して、御礼の言葉と代えさせていただきます。

第21回全旅連青年部全国大会 in 美ら島沖縄 実行委員長 鈴木 治彦

### 編集後記

超大型台風が迫りくる中の開催で、帰れなくなるのではないかとかなりドキドキいたしました。

全旅連青年部ホームページ <http://ajra.jp/>

全旅連青年部 広報委員会  
宮地 真知子



## 全旅連シルバースター部会 経営研究委員会開催

全旅連シルバースター部会(多田計介部会長)は、9月27日に経営研究委員会(桜井唱弘委員長)を開催し、株式会社サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」を使用して今夏に実施した誘客キャンペーン(6月1日～8月31日)についての総括をした。キャンペーンの内容は、全旅連オリジナルのうちわ(171,700本)、ランチョンマット(100,000枚)、子供用甚平(3,000着)等を製作して宿泊客らに配布。キャンペーンを終えて、うちわ等を申し込んだ旅館ホテルや組合へアンケート調査を実施したが、お客様には大変好評だったとの喜ばしい結果が得られた。出席したサンリオ企画営業本部第一部の浅山元子課長代理からも、とても満足 of いくキャンペーンであり、来年度も続けてほしいとの話があった。

また、11月から観光経済新聞の紙面でシルバースター登録施設の取り組みを紹介するコラムが開始され、今後の部会事業としては、観光庁や学識経験者を交えて委員会を開催し、シニアマーケット向けの新たなビジネスモデルを模索できたらと考えている。



## 第1回全旅連会長選挙 管理委員会開催

全旅連では来年の役員改選期を迎えるにあたり、10月10日、第1回全旅連会長選挙管理委員会(住友武秀委員長)を開催し、会長立候補に関する要綱を策定、10月15日立候補について告示した。

同委員会は、会長選出に関する内規第2条により、本会専務理事並びに監事が就任するとされており、去る9月18日開催の正副会長会議において設置が承認されている。



本委員会終了後、10月15日付文書により各都道府県組合理事長宛に立候補受付に関して告示された。

なお、立候補受付期間は、11月22日(木)から30日(金)までで、被選挙権者は内規第1条2により、全旅連理事者のうち、各都道府県組合理事長である者とされている。

第2回目の選挙管理委員会は立候補受付締切後の12月5日に開催予定。

お願い

### 固定資産見直しに関する緊急アンケート 「ホテル・旅館の維持補修に関する調査」実施

固定資産評価の見直し実現のため、「ホテル・旅館の維持補修に関する調査」へのご協力よろしくお願いたします。

平成24年度の税制改正において「ホテル・旅館の用に供する建物に関する固定資産評価の見直し」が閣議決定されました。見直し実現のためには、旅館ホテルでは、百貨店や劇場(固定資産税の評価に於いて同種の括りとされている建物)とは異なり、多額の維持補修費用を要しているという実態を把握することがまずは必要であることから、現在、各都道府県組合を通じて、緊急調査を実施しています。これは、日本ホテル協会、全日本シティホテル連盟並びに日本旅館協会(旧国観連、旧日観連)との共同事業として行っているものですので、調査票が送られた組合員の皆様は、何卒ご理解ご協力の程よろしくお願申し上げます。

# 全旅連女性経営者の会(JKK) 定例会・勉強会開催

全旅連女性経営者の会(JKK、石橋利栄会長)は9月3日、勉強会として湯元館「第50期経営方針発表会」(滋賀県大津市・大津プリンスホテル)にオブザーバー参加。9月4日には、役員会・第5回定例会・役立つ講座を滋賀県大津市・びわ湖花街道で開催した。

3日の「第50期経営方針発表会」では、町丸義之氏(『ディズニーランド伝説のトレーナーが明かすミッキーマウスに頼らない本物の指導力』の著者)による講演『ミッキーマウスに頼らない本物のサービス』に続いて、湯元館針谷代表取締役会長の講話、椿代表取締役社長の経営方針、役員所の所信表明、社員による各部門の方針と計画、改善発表等が行われた。

## 〈経営方針発表会に参加したJKK会員の感想〉

(抜粋)

### ◆経営方針発表会

・新しい期を歩むにあたり、Y(yesterday)T(today)T(tomorrow)の時間軸で、前期の実績報告、会社の方針、各セクションの目標と、スムーズな流れで、トップダウンされていることに敬服いたしました。全社員が一同に会し、内容を共有できる時間を持つことの必要性を改めて実感いたしました。(M.I)

### ◆「改善メモ」・「ありがとうカード」

・これら存在が個々の努力を可視化させ、そこにきちんと評価が与えられることに意味があるのだと思いました。(S.O)

・改善した方がいいと思っても、なかなか下の意見は上まであがってきません。年に一回、発表する場があれば、皆のいい刺激になりますし、自分の案が通ると嬉しく、益々いいアイデアが浮かぶと思います。「ありがとう。」も言われて悪い気がする人はいないと思います。(I.S)

※湯元館では、創造性を養うために「改善メモ」(社員が気づいた事を記入する用紙)と感謝する心を養うために「ありがとうカード」(社員の間でお礼を記す用紙)を実施している。

### ◆「忘己利他」

・自分の事よりもお客様を思い、自分の事よりも社員を思い、自分の事よりも支えてくれている家族や友達を思う。当たり前のことなのに何故か重く受け止めた言葉

に感じます。(S.S)

### ◆「熱意は人を動かす」

・私たちが社員ともっと向き合い、私たちが頑張っている姿、熱意を社員に示さなければと痛感いたしました。私たちの気持ちが通じた時に社員たちの意欲が向上し、お客様の満足度が増し、売上がアップするという理想のスパイラルへと転化するものと確信いたしました。(N.O)  
・経営者として、会社としての明確なビジョン、目標を作成し、スタッフへ言葉として伝え実行していくことの大切さ。それがお客様への最高のサービスにつながり、ひいては会社も従業員も幸せになるのだと、今回の発表会を通じあらためて感じました。

「熱意は人を動かす」、まさにそのとおりですね。(S.T)

### ◆「気働き」

・気づきを元に動く『気働き』とは心に響くいい言葉でした。思っただけでも上手く伝えられなかった社員への思いがお陰様でとても具体的になりました。(Y.S)

### ◆その他

・苦しいと言われ続けている観光業界ではありますが、「まだまだ出来る!やるべき事がある!」と元気を頂戴しました。(I.N)

・「何もしないより、まずはやってみる!」この姿勢を大切にしていきたいと思いました。(Y.S)

・自分の宿の形に合わせて、良い所は少しでも真似させていただき前に進んで行こうと思います。(M.T)

・今回の発表会で一番幸せそうな顔をされていたのは針谷会長であると感じました。長い間「忘己利他」の精神で事業を運営されてきた賜物であり、一步でも近づけるように、経営者として向上をしたいと思います。(T.I)



針谷会長(後中央)とJKKの皆さん

## ホテル火災発生に伴う消防庁による緊急調査結果報告

今年5月13日に広島県福山市で宿泊客7名が死亡、3名が負傷したホテル火災を受け、消防庁では5月16日、全国の旅館・ホテル797棟について緊急調査を実施した。調査対象は1971年（昭和46年）に防火基準が強化される前に新築され、**現行法令への適合が確認されていない3階建て以上収容人員30人以上のホテルや旅館**。（※現行の建築基準法の建築構造、防火区画及び階段の規定に適合しているものを除く。過去「適マーク」を交付したことのある防火対象物については適合していると判断して差し支えない。）

この結果、797棟のうち何らかの消防法令違反が549棟（68.9%）あった。建物の規模や収容人員によって義務付けられている防火対策は異なるが、消防訓練を年2回やっていない違反が353棟で最多、次いで、建物全体をカバーしていないなど火災報知設備の違反が249棟と多かった。スプリンクラー設備、屋内消火栓設備又は自動火災報知設備のいずれかの設備が、その設備の設置義務部分の床面積の過半にわたり設置されていないとした“重大な違反”は47棟あった。（詳細は7ページに掲載）

また、国土交通省では、福山市のホテルが建築基準法に違反する事項があったにもかかわらず、速やかに建築基準法に基づく是正措置がなされていなかったことから、建築基準法で防火関連の規制が強化された1971年以前に新築された地上3階建て以上の宿泊施設を対象とした緊急立ち入り検査を実施、この結果、調査した1840棟のうち、867棟に建築基準法違反があった。建築基準法違反の項目として、最多は非常用照明装置の未設置などで410棟を占めた。次いで耐火建築物としての条件を満たしていないのは395棟だった。このほか、延焼を防ぐ防火壁などの未設置が346棟、火事で発生した煙を外に出す排煙設備の未設置は220棟だった。

## 平成24年秋季全国火災予防運動の実施

今年度の秋季全国火災予防運動が、平成24年11月9日から15日までの7日間にわたり実施されます。この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐ事を目的としています。

防火標語（平成24年度全国統一防火標語）

『消すまでは 出ない行かない 離れない』

重点目標

- （1）住宅防火対策推進
- （2）放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- （3）特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- （4）製品火災の発生防止に向けた取組の推進

※（3）では、「ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底」が推進項目に入っています。



# ホテル・旅館等に係る緊急調査結果【項目別】

平成24年8月15日報告

## ○調査結果概要

調査全数	797 対象	
何らかの消防法令違反があるもの	549 対象	68.9%
重大な違反があるもの	47 対象	5.9%

※調査については、棟単位で実施したもの。

※重大な違反とは、スプリンクラー設備、屋内消火栓設備又は自動火災報知設備のいずれかの設備が、その設備の設置義務部分の床面積の過半にわたり設置されていないものをいう。

## ○規模別施設数

延べ面積	施設数	割合
300㎡未満	10	1.3%
300㎡以上500㎡未満	69	8.7%
500㎡以上700㎡未満	139	17.4%
700㎡以上1,400㎡未満	269	33.8%
1,400㎡以上2,100㎡未満	114	14.3%
2,100㎡以上	196	24.6%

## ○消防法令違反の状況

調査項目	義務施設数	違反施設数	違反率	違反処理等の状況			
				行政指導	警告書の交付	命令書の交付	
消防用設備等	消火器具	797	78	9.8%	76	2	0
	屋内消火栓設備	426	109	25.6%	106	3	0
	スプリンクラー設備	56	14	25.0%	14	0	0
	自動火災報知設備	791	249	31.5%	248	1	0
	消防機関へ通報する火災報知設備	631	70	11.1%	69	1	0
	非常警報設備（器具）	679	60	8.8%	58	2	0
	避難器具	455	74	16.3%	73	1	0
	誘導灯	797	209	26.2%	206	3	0
	その他の消防用設備等	341	32	9.4%	31	1	0
防火管理	防火管理者	797	67	8.4%	67	0	0
	消防計画	797	95	11.9%	93	1	1
	消防訓練	797	353	44.3%	351	1	1
防災規制	797	210	26.3%	209	1	0	
消防用設備等点検結果報告	797	186	23.3%	185	1	0	
防火対象物点検結果報告	348	129	37.1%	128	0	1	
避難上必要な施設等の管理	797	113	14.2%	110	3	0	
その他の消防法令違反	797	135	16.9%	134	1	0	

## ○消防法令違反の主な内容

設備の種類	義務施設数	違反施設数		重大な違反以外の主な内容
		重大な違反	重大な違反以外	
屋内消火栓設備	426	33	76	ホースの耐圧試験未実施
スプリンクラー設備	56	1	13	一部散水障害、一部未警戒
自動火災報知設備	791	17	232	感知器の一部未警戒

※ 総務省消防庁予防課「ホテル火災対策検討部会中間報告（平成24年10月）」

職場のいじめ・嫌がらせ、いわゆるパワーハラスメント問題については、近年、相談件数が増加を続ける等、社会問題として顕在化しています。

このため、平成23年7月に、厚生労働副大臣の下に各界の有識者の参集を求めて開催した「職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議」では、平成24年3月15日に、企業及び労働組合等の組織と、組織で働く労働者に対し、この問題に取り組むことを求める「職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けた提言」を取りまとめました。

職場のパワーハラスメントは、労働者の尊厳や人格を傷つける許されない行為であるとともに、職場環境を悪化させるものであり、この問題を放置すれば、労働者は仕事への意欲や自信を失い、時には、心身の健康や命すら危険にさらされる場合があるものです。

このため、厚生労働省労働基準局では、この問題に取り組む社会的気運を醸成するとともに、広く対策が行われるよう、提言の内容を分かりやすくまとめた周知用資料を活用して、周知を実施しています。また、平成24年10月1日に、パワーハラスメントの予防・解決に向けたポータルサイトを開設しました。

組織は必要な対策に取り組むとともに、一人ひとりが自分たちの職場を見つめ直し、互いに話し合うことから始めましょう。

### 職場のパワーハラスメントとは、例えば、こんな行為。

- ① 暴行・傷害(身体的な攻撃)
- ② 脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言(精神的な攻撃)
- ③ 隔離・仲間外し・無視(人間関係からの切り離し)
- ④ 業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害(過大な要求)
- ⑤ 業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと(過小な要求)
- ⑥ 私的なことに過度に立ち入ること(個の侵害)



#### 【考え方】

- ①は、業務の遂行に係るものでも「業務の適正な範囲」に含まれません。  
 ②と③は、原則として「業務の適正な範囲」を超えると考えられます。  
 ④～⑥は、何が「業務の適正な範囲」を超えるかは業種や企業文化の影響を受け、具体的な判断も行為が行われた状況や行為が継続的であるかどうかによって左右される部分があるため、各企業・職場で認識をそろえ、その範囲を明確にすることが望ましいです。

### 職場のパワーハラスメントをなくすために

#### 企業や労働組合は、予防・解決に向けて取り組みましょう。

##### 予防するために

- **トップのメッセージ**  
組織のトップが、職場のパワーハラスメントは職場からなくすべきであることを明確に示す
- **ルールを決める**  
就業規則に関係規定を設ける、労使協定を締結する  
予防・解決についての方針やガイドラインを作成する
- **実態を把握する**  
従業員アンケートを実施する
- **教育する**  
研修を実施する
- **周知する**  
組織の方針や取組について周知・啓発を実施する

##### 解決するために

- **相談や解決の場を設置する**  
企業内・外に相談窓口を設置する、職場の対応責任者を定める  
外部専門家と連携する
- **再発を防止する**  
行為者に対する再発防止研修を行う

提言の本文は厚生労働省のホームページに掲載されています。

パワーハラスメント 厚生労働省

検索

職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けたポータルサイト: (URL) <http://www.no-pawahara.mhlw.go.jp/>

全ての都道府県の地域別最低賃金額が下表のとおり改定され、平成24年9月30日から11月4日までの間に順次効力が発生します。

平成24年度地域別最低賃金改定状況

都道府県名	時間額【円】	発効年月日	都道府県名	時間額【円】	発効年月日	都道府県名	時間額【円】	発効年月日
北海道	719	H24.10.18	石川	693	H24.10.6	岡山	691	H24.10.24
青森	654	H24.10.12	福井	690	H24.10.6	広島	719	H24.10.1
岩手	653	H24.10.20	山梨	695	H24.10.1	山口	690	H24.10.1
宮城	685	H24.10.19	長野	700	H24.10.1	徳島	654	H24.10.19
秋田	654	H24.10.13	岐阜	713	H24.10.1	香川	674	H24.10.5
山形	654	H24.10.24	静岡	735	H24.10.12	愛媛	654	H24.10.24
福島	664	H24.10.1	愛知	758	H24.10.1	高知	652	H24.10.26
茨城	699	H24.10.6	三重	724	H24.9.30	福岡	701	H24.10.13
栃木	705	H24.10.1	滋賀	716	H24.10.6	佐賀	653	H24.10.21
群馬	696	H24.10.10	京都	759	H24.10.14	長崎	653	H24.10.24
埼玉	771	H24.10.1	大阪	800	H24.9.30	熊本	653	H24.10.1
千葉	756	H24.10.1	兵庫	749	H24.10.1	大分	653	H24.10.4
東京	850	H24.10.1	奈良	699	H24.10.6	宮崎	653	H24.10.26
神奈川	849	H24.10.1	和歌山	690	H24.10.1	鹿児島	654	H24.10.13
新潟	689	H24.10.5	鳥取	653	H24.10.20	沖縄	653	H24.10.25
富山	700	H24.11.4	島根	652	H24.10.14			

必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も。

ウェブで最低賃金がチェックできます。

最低賃金制度

検索

厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp>

最低賃金に関する特設サイト <http://www.saiteichingin.info/>

国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア  
観光ビデオを通して日本の魅力を国内外へアピール  
「第二回 観光映像大賞」の実施に向け一般公募スタート

作品  
募集中!

国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」は、2012年6月14日(木)に実施したオープニングプレスイベントにて、第一回開催となる「観光映像大賞」を『うどん県。それだけじゃない香川県』(香川県)と『kumamoto surprise film「くまもとで、まってる。」』(熊本県)の2作品に授与し“観光振興”という観点で最も創造性、振興性、話題性を含んだ優秀作品として、映画祭で紹介しました。

第二回となる2013年は、映画祭事務局内に観光映像課を設置し、全国各地に存在する観光映像(観光ビデオ、プロモーション映像など)を広く一般公募いたします。そして、2013年6月に行われるSSFF & ASIAにて、大賞受賞作品の発表を行うほか、エントリー作品を国内外に発信していく活動を年間を通して行っていきます。

URL:<http://www.shortshorts.org/kankou/index.html/>

●第二回 観光映像大賞 概要●

- 主催:ショートショート実行委員会 観光映像課
- 公募期間:2012年9月27日(木)~2013年3月29日(金)(予定)
- 参加費:無料
- 受賞発表:2013年6月4日(予定)
- 対象作品:各都道府県で制作されている観光プロモーション映像・ビデオで、“観光振興”という観点で創造性、振興性、話題性を含んだ作品。CM的な要素を含みながら、見た人にインパクトを与え、心打つ作品。作品の長さは、60分以内(エンドクレジット含む)とし、制作年は問いません。日本全国47都道府県で制作された作品はもちろんの事、各地域の自治体、団体(全国旅館組合など)、企業(旅行会社、代理店など)が制作・保有している作品も対象となります。

※観光映像大賞に参加をご希望の都道府県、自治体、企業、団体の皆様は、[kanko@shortshorts.org](mailto:kanko@shortshorts.org)までお問い合わせください。

## 第15回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

優秀賞

### 石川県旅館ホテル生活衛生同業組合 青年部加賀支部

『レディー・カガ』による加賀温泉郷のPR

石川県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部加賀支部(支部長 萬屋浩幸)は、4つの温泉地がばらばらに行っていた広告宣伝を加賀温泉郷というひとつのエリアで情報発信し、認知度をより高めたいと考えていた。しかし、大規模に広告するための予算は無いということで、動画を作成しインターネットの動画投稿サイト「ユーチューブ」上にアップすることにした。

動画は、加賀温泉郷で働く女性60名を集め、“お出迎えの姿”を収めたもの。駅のホームにずらりと並び、笑顔でお辞儀をしたり、はにかみながら手を振ったりしながら「地域全体でのおもてなし」を表現している。こだわりは、宿泊業にとどまらず、飲食業など様々な業種の女性を登場させたということ。文字通り「町おこし」の観光プロモーションとなっている。

11月14日に公開されたPR動画「Lady Kaga(レディー・カガ)登場編」は、フェイスブックやツイッターといったソーシャルネットワークを駆使し、動画の共有・拡散に努めたところ、動画再生回数は3カ月で25万回を超え、ネット上で大いに話題となり各種メディアが注目した。結果として、大手新聞社、在京テレビキー局にも取上げられ、加賀温泉郷PRの一定の効果を得ることができた。

今後、長野—金沢間が北陸新幹線で結ばれるが、加賀温泉郷では「関西、中京、北陸のお客様だけでなく首都圏のお客様も増やしたい」と「レディー・カガ」の活動を継続させ、認知度アップに拍車をかける。



京阪神の各駅(JR西日本)に掲出されたPRポスター

優秀賞

### 奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合 女性部あゆみ会

「女将のお勧め 美仏に出逢う旅」

奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合女性部あゆみ会(会長 森下満寿美)は、東日本大震災などの災害により人々の心が悲しみに沈んでいる今、仏様と静かに対面する事で心を癒して頂きたいと「女将のお勧め 美仏に出逢う旅」を企画した。これは奈良県の新たな魅力を全国的にPRしようとするものである。

主な活動としては、あゆみ会(会員数62名)の20名が「私の好きな美仏」をテーマに女性ならではの視点から仏像を推薦し、女将自身の言葉で紹介するユニークなパンフレットを2万部作製した。仏像と寺院の写真を掲載するための許可の取得もそれぞれの女将が担当し、女将の顔写真とともに掲載している。

このパンフレットは、今まであまり知られていなかった仏像も紹介するなどオリジナリティに溢れたもので、平成23年12月1日に記者発表を行うなど広報に努めた結果、紹介寺院からも「拝観者が増えている」との声が届いた。そして、地域の観光素材でもある寺院と女将が親交をもつことで、共に観光振興に寄与することができ、宿泊客の増加にもつながった。

大日寺(吉野町)の「五智如来坐像」(ごちによらいごぞう)を紹介した森下会長は「観光コースに入らないことが多いが、5体とも完全な姿でそろった如来さまは珍しく、ぜひ見てほしい」と話している。今後、女将おすすめの散策スポットやスイーツなども紹介してお寺を巡りながら、町歩きも楽しめるものにしていく予定である。



顔立ちが美しいお勧めの仏像を紹介する観光パンフレットの一部分

## 全旅連会議開催

【10月】

- 10日(水)
  - 第1回全旅連会長選挙管理委員会
- 18日(木)
  - 一般社団法人日本旅館協会設立記念式典  
於:京王プラザホテル(東京都新宿区)
- 23日(火)
  - 全旅連女性経営者の会(JKK)役員会
- 24日(水)
  - 全旅連シルバースター部会幹部会
- 25日(木)
  - 全旅連青年部常任理事会 他
- 26日(金)
  - 平成24年度厚生労働大臣表彰・生衛中央会  
理事長表彰(生活衛生功労者)表彰式  
於:ホテルニューオータニ(東京都千代田区)

### 全旅連よりお知らせ

#### 全旅連情報まんすりーの変更、次号(平成24年度12月・1月合併号)以降について

全旅連の広報を担当する総務委員会(広報小委員会)では、全旅連活動に関する情報が組合員の間でより広く共有されることを目指して、全旅連が有する情報発信手段の活用策を検討した結果、定期的な情報発信、情報共有の広域性という観点から現在ご覧いただいている「全旅連情報まんすりー」の発行部数を増刷し、より多くの組合員へ配布する体制を整えることにいたしました。これに伴い、次号(平成24年度12・1月合併号)より冊子頁数と発行回数に変更があります。

次号(平成24年度12・1月合併号《1月1日発行》)より

頁数:白黒8頁

発行回数:年10回

《4月、5月、6月、7・8月合併、9月、10月、11月、12・1月合併、2月、3月》

現行版は今号(11月号《11月1日発行》)までとなります(12月1日の発行はありません。)。次号は今年度12・1月号(1月1日発行)となり、この時より上記の変更が行われますこと予めお知らせ致します。

## 経営ワンポイントアドバイス

### 「まんすりー」経営改善講座 渡邊 清一郎

#### 「本年も有難うございました」

本冊子「まんすりー」9月号・10月号の2回にわたって「中小企業金融円滑化法満了後を今、考える」と題したレポートをお届けしました。この間、これまでも増した弊職あての経営相談件数は増加しています。既に、事業再生に向けて第三者に相談しプロジェクトチームを組成して重要な一歩を踏み出した経営者も存在します。中には、「金融円滑化法の適用は受けておらず現状は金融支援に不満はないが、厳しい経営環境を考えるとこのままでは行き詰まる。今のうちに対策を考えたい。」というような感度のいい経営者からの相談も増えています。

うつむきがちな者が多い時ほど、勇気をもって前を直視し進む者には道が開けると確信します。言い換えると、政治も経済も国家的に混沌とした現在は、自分のやるべきことに真摯に取り組む者にとっては「チャンス到来」の時なのではないでしょうか。このワンポイントアドバイスで組合員の皆様とお目にかかるのは、次回は新年になります。

今以上に「重要な一歩」を踏み出す経営者が一人でも増えていることを期待しています。本年中、拙文を読んでいただきありがとうございました。

質問・相談は  
watanabe@yadonet.ne.jp  
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

### 全旅連協定商社会からのお知らせ

全旅連協定商社の株式会社リクルートは、平成24年10月1日、主要事業部門を分社化しグループ経営体制を変更しました。それに伴い、『じゃらん』は他日常消費領域を担う「株式会社リクルートライフスタイル」の旅行情報、宿・ホテル予約部門として新しくスタートすることになりました。

今後は、上記新社名にて協定商社活動も行っていきます。

## 地方自治体などが東京の各地で国内観光振興プロモーションを展開

選ばれた8団体が旅客ターミナルで各種イベントを  
10月には「徳島県」と「北海道占冠村」



観光庁や観光・航空関係者でつくる「空港を活用した国内観光振興プロモーション実行委員会」は、各地で観光振興に携わる団体に対し、羽田空港の旅客ターミナル内のスペースを国内観光のプロモーション用に無料で貸し出している。2008年度から実施しているもので、今年度の募集には16団体の応募があったが、選考で選ばれた8団体は今年度7月から来年3月の間に観光客の誘致や航空便の利用促進のためのイベントを行う。



写真はいずれも第1旅客ターミナルの「徳島県」のイベント

第1旅客ターミナルでは、札幌市国内観光プロモーション実行委員会(7/13～15)、徳島県(10/12～14)、九州観光推進機構(1/18～20)北九州空港利用促進協議会(3/8～10)。また、第2旅客ターミナルでは、おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会(7/13～15)、北海道占冠村(10/12～14)、岩国綿帯橋空港利用促進協議会(1/18～20)、泉佐野市観光協会(3/8～10)がそれぞれイベントを行う。その中で10月に行われた観光振興プロモーション取材した。

■第1旅客ターミナルでの「徳島県」=行楽の秋、徳島県では「とくしま祭り」や「第27回国民文化祭・とくしま2012」など魅力溢れるイベントが盛りだくさんだが、そんな阿波徳島の魅力をまるごと紹介している。会場では「東京一徳島往復航空券」や国民文化祭開催中の今しか手に入らない「すだちくんキューブ」「藍竹人形」などが当た

る大抽選会のほか、徳島自慢の「すだち」の掴み取りなどが行われた。さらに、この3日間は阿波おどりも披露され、観光客参加の「踊る阿呆」の“踊り体験”も行われた。2階中央マーケットスペースは「きて・みて・なっとく!おいでよ徳島」——の華やかなイベントの数々で賑わった。(写真撮影:10月14日)

### 秋田県が都内で集中的観光PR



秋田県を対象としたJR東日本のプレ・デステーションキャンペーン(10月～12月)に先行し、県は東京・銀座のサッポロ銀座ビルに巨大壁面広告(9/10～10/30)を掲示した。また、JR山手線などが通る首都圏の10駅で、秋田県をPRする「あきたびじょん」入りのポスターを掲示している。



写真上から銀座4丁目での巨大な壁面広告。秋田県のPR広告のラッピング電車

■第2旅客ターミナルでの「北海道占冠村(しむかっぶむら)」=北海道のほぼ中心に位置する占冠村は「寒さ日本一」の村。「新千歳空港やとち帯広空港からの好アクセスが魅力の『トママ』でダイヤモンドダストやパウダースノーの世界を体験しませんか?」と呼びかけている

=写真右。

